

6 領聖前の祈祷文

あなたの罪を司祭に痛悔したならば、次の祈祷を領聖の準備の一部として唱えなさい。さらに、聖体を受ける時には前晩から禁食し、家族や友人たちと仲の良い状態にいななければなりません。

(天の王へ天主経に続けて)

来たれ。我等の王・神に叩拝せん。

来たれ。ハリストス・我等の王・神に叩拝せん。

来たれ。ハリストス・我等の王と神の前に叩拝俯伏せん。

童貞女より生まれし主や、我不法を思うなかれ。我心を浄めて、これを爾が至浄の体血の堂と為し給え。

仁慈極まりなき主よ、我を爾の顔より退くるなかれ。

光栄は父と子と聖神に帰す。

我当らざる者、何ぞ敢えて爾の聖体を受けん。若し受くるに堪うる者と偕に敢えて爾に就かば、我衣我を表証す。その

婚宴の衣にあらざる恐は、我多罪の靈に定罪を招かん。主よ、

爾人を愛するに因て、我靈の穢を浄めて我を救い給え。

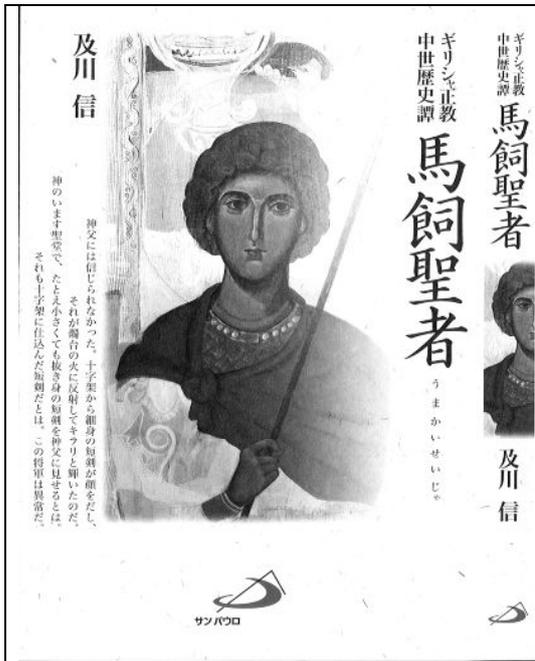
生神女よ、我罪は甚だ多し。浄き者よ、爾に走りつきて救を

求む。独讚美せらるる者よ、我病める靈を顧みて、爾の子・我神に、我行いし罪悪の赦を賜わんことを祈り給え。  
(時間があれば二二二聖詠、一一三聖詠、一一五聖詠の一〇節を読むと良いでしょう。領聖前には次の祝文を繰り返して読みなさい。)

書籍紹介

「馬飼聖者」 及川信 著 サンパウロ発行 1,600円

約千年前のギリシヤを舞台にした小説。九州人吉正教会のパワエル及川信神父の最新作です。殺人事件から始まる一連の陰謀、善意と悪意が入り混じる人間関係、挫折そうになりながら信義を通そうとする人々。教会にあまり興味の無い人でも思わず引き込まれてしまう物語(ですから、子供、孫、友だちに勧めるにもとても良い本ですよ)。



多くの方が読んでくれると思います。お近くで手に入らない時は内田神父に頼んでください。お取り寄せいたします。